



1_小学生も気軽に本に触れられる「子ども読書室」(1階) 2_13万冊もの図書が収蔵されている白石市図書館。「過去を残す」だけでなく、「未来へつなぐ」役割も求められている 3_貴重な資料も収蔵されている「個人文庫コーナー」(2階) 4_白石をはじめ宮城・東北の資料が収蔵されている「郷土資料室」(2階)

「未来」へつなぐ 情報拠点として

「静」の空間で過ごす至福の時間。
読書は、言葉を学び、感性を磨く。
図書館は、郷土の歴史や文化など
「知の宝」を未来へ伝える。
「人」を育て、「人」に伝えながら、
これからも、「人」とともに歩み続ける。

■個人文庫コーナー

※蔵書数は平成24年9月1日現在

文庫名	経歴・収蔵資料など	蔵書数
関谷文庫	白石市長を務めた関谷宗一氏が収集した資料など	469冊
阿子島文庫	白石市史編さん委員を務めた阿子島雄二氏が収集した資料など	449冊
大内文庫	郷土史を研究していた大内幸之助氏が収集した資料など	301冊
鈴木文庫	鈴木梅子氏の詩集など	513冊
朝倉文庫	医師として活躍された朝倉松雄氏が収集した資料など	484冊
銭谷文庫	東北地方道路運送審議会委員長・白石商工会議所会頭などを歴任された銭谷周治郎氏による寄贈資料	471冊
佐藤文庫	中町の佐藤履物店・佐藤栄喜氏より、金婚祝いの記念に寄贈された資料	182冊
齋藤文庫	小原のヒダリマキガヤなどの植物の国天然記念物指定に貢献された齋藤四郎治氏が収集した資料など	735冊
鈴木道太文庫	児童文化・家庭教育に尽力された鈴木道太氏が収集した資料など	4,167冊
遠藤文庫	中学校・高校の教師として国語教育に尽力された遠藤美樹氏が収集した資料など	231冊
中橋文庫	東北地方の考古学・文化財保護に尽力された中橋彰吾氏が収集した資料など	1,124冊

大正3(1914)年11月3日に創立した白石市図書館。約百年の歴史を持つ図書館には、歴史的に貴重な資料から現代の小説や雑誌まで「知の宝」がぎっしりと詰まっている。「図書館は堅苦しくて利用しづらい」と思っている方もいるかもしれないが、実際は、子どもからお年寄りまで幅広いジャンルの図書を備えた、まさに「市民のための図書館」だ。平成21(2009)年4月には情報センター「アテネ」と運営を統合し、アテネ内に絵本コーナーを拡大して移転するなど、「市民の皆さんが図書館とアテネを有効に活用できる」サービスを展開している。また、平成22年4月に新設した「個

人文庫コーナー」は、白石で活躍・尽力された方からの寄贈資料を保存している。資料保存のため、普段は閉架書庫に大切に保管しているが、申請すればそれらの資料を読むことができる(一部閲覧できない資料もある)。
本年8月、個人文庫の11番目のコレクションとして、地元白石をはじめ、東北地方の考古学・文化財保護に尽力された故中橋彰吾氏の収集資料が加わった。県内外の発掘調査報告書や市町誌、考古学に関する定期刊行物など、千点を超える貴重な資料だ。これらの資料は、考古学や郷土の文化財を学ぶ方などの大切な資料として後世に伝えていきたい。

特集

図書館

アテネ
に憩う

「知」の魅力を再発見
「学び」との出会いを楽しんでみませんか？

百年の歴史と13万冊の図書が誘う「知の旅」
インターネット時代だからこそ、
「本との出会い」を楽しむことで思いがけない「宝」と出会える
新しい物語を見つけに、さあ、行こう！

N(913.68)
日本小説
著者順 排列
つゝの

開館時間

●図書館 ☎26-3004 FAX26-3505
火・金・土・日曜日 9:00～17:00
水・木曜日 9:00～19:00

<http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/toshokan/>

●アテネ ☎22-1500 FAX22-1502
火～日曜日 9:00～17:00

<http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/athens/>

※図書館・アテネともに、原則、毎週月曜日と毎月第1金曜日休館。10月1日(月)～10日(水)は、蔵書点検のため図書館を休館します。